

ECR

Easy Crown Remover

— イージークラウンリムーバー —



イージークラウンリムーバーは、補綴物を削らず、再利用可能な状態を取り外せます。

ECR (Easy Crown Remover) は、クラウン等の補綴物を撤去する際、補綴物の咬合面に小さな穴をあけるだけで撤去を可能にした器具です。補綴物を大きく壊すことや、支台歯への負担が抑えられます。撤去した補綴物はテンポラリーとして使用することも可能です。



単冠に限らず。



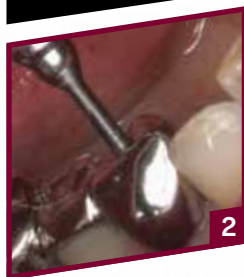
最小限の穴だけ。



再利用も。
リサイクルも。



Case 1



2

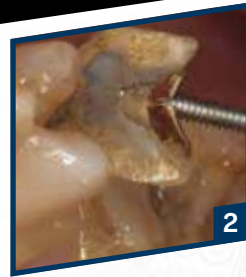


Case 2



Case 3

1



2

Case

臨床動画公開中！



クラウン除去



インレー除去



ブリッジ除去

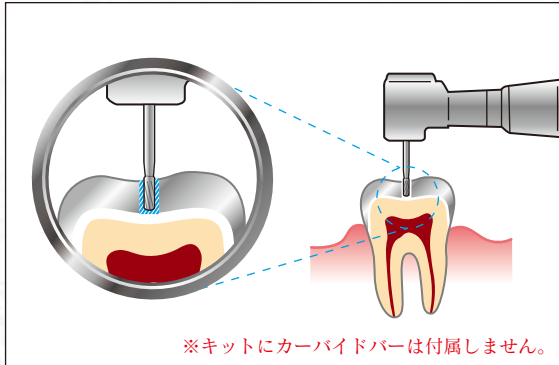


ロングスパン
ブリッジ除去

QRコードより、YouTubeにアクセスします。

使用手順・注意事項

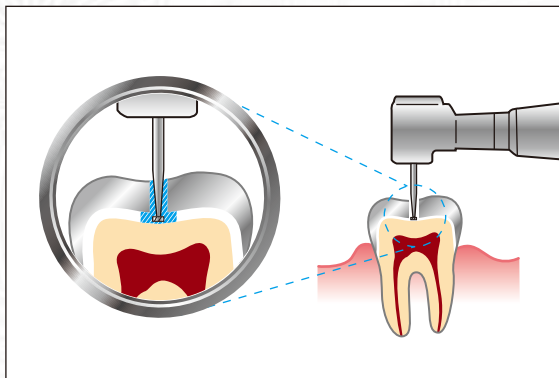
1



アクセスホールの形成 ※裏面参照

- アクセスホールの形成にはカーバイドバー（製品規格# 1557）をご用意下さい。本製品にはアクセスホール形成用のバーは付属していません。
- アクセスホールの径を大きくしてしまうと、メタルリムーバーが噛み込まなくなるのでご注意下さい。
- アクセスホールはセメントラインを超えないようにして下さい。
- マイクロスコープやルーペなどによる拡大視野下にてセメントラインを確実に確認されることをお勧め致します。

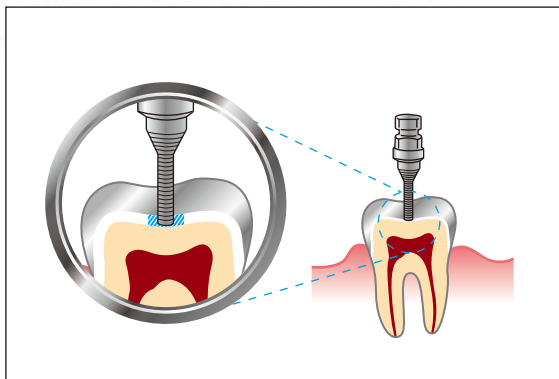
2



スペーサーでの形成

- スペーサーでの形成はセメントラインを超えないようにして下さい。支台歯まで形成しないで下さい。
- スペーサーにはサイドカッターが付いています。補綴物を削らないようにして下さい。

3

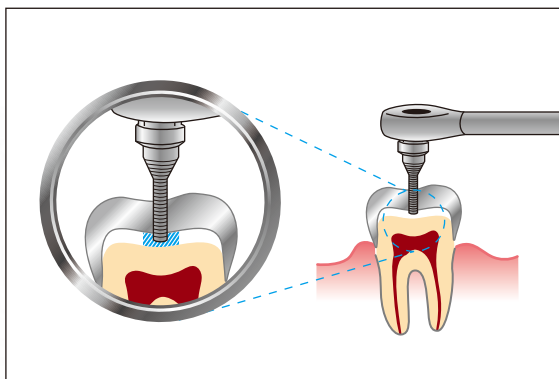


メタルリムーバーの装着

- メタルリムーバーはゆっくり回して装着して下さい。
- 1.6mmのメタルリムーバーを使用して補綴物のアクセスホールが広がり、メタルリムーバーが噛み込まない場合は、1.8mmのメタルリムーバーをご使用下さい。

※口腔内への落下およびそれに伴う誤嚥・誤飲を避けるため、縫合糸やフロスなどをメタルリムーバーに巻き付けてご使用下さい。

4



ラチェットでの取り外し

- トルクの掛け過ぎにご注意下さい。メタルリムーバー破折の原因になります。
- トルクが掛かり過ぎる場合、ラチェットを反転させて逆回転させて外して下さい。その後、同じホールに再度試す。または別の箇所新たなアクセスホールを形成して下さい。
- (トルクが掛かり過ぎる場合、補綴物の装着方向と異なる方向へアクセスホールが形成されている可能性があります。その場合は別の箇所に新たなアクセスホールを形成して下さい。)

使用にあたって注意が必要な症例

- 陶材焼付冠の場合、インレーなどで陶材部分を削合し金属を露出させてからご使用下さい。
- X線では確認出来ないような短いポスト付きのクラウンの場合、セメントラインまで確実にアクセスホールをあけて下さい。
- 歯牙の状態を考慮して適切に使用して下さい。

Point!

アクセスホール形成のポイント！

(ホールが大きくなり過ぎると使用できません)

- タービンではなく、5倍速コントラを使う。
- 小さなダイヤモンドバーで先に滑り止めのポイントを付ける。
- 左手の指もコントラに沿える。
- 先端が消耗したバーは使わない。

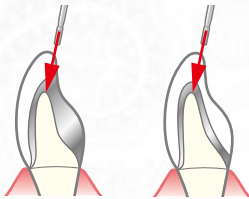
前歯でご使用の場合



必ずご確認ください。

※本製品は臼歯部での使用を目的とした器具です。前歯に適用することも可能ですが、使用が難しいこともあります。支台歯の形状を考慮して慎重に行うようにして下さい。

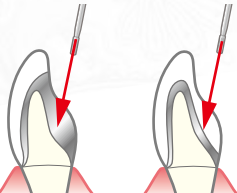
方法1



支台歯のトップへのアプローチ

切縁ラインのギリギリを狙い、セラミックを削って金属部分を露出させてから、支台歯のトップをめざしてアクセスホールを形成します。

方法2



基底結節へのアプローチ

除去用バーにて金属部分へアプローチする際に、除去用バーが滑ってホールの形成が難しい場合があります。まずダイヤモンドバーなどで「ポイント」を付けてからご使用下さい。

適応症例

○ 金属冠

インレー

アンレー

クラウン

ブリッジ

陶材焼付冠

× 非適応症例

- ・非金属冠（レジンジャケット、オールセラミック）
- ・咬合面の金属が極端に薄い、柔らかい症例
- ・長いポストが付与されている金属冠

× 禁忌

- ・歯質の弱っている状態の歯牙には使用しないこと。
- ・歯根破折またはその疑いがある場合には使用しないこと。

* 注意

- ・過度な力を加えると、歯根が破折する可能性があります（裏面の使用手順4番を参照）
- ・インレーでの使用は残存歯質の形態や状態を考慮してご使用ください（MODインレーなど）
- ・リムーバーがコアに噛み込んだまま回転を続けると、歯根が破折する可能性があるのでご注意ください（ファイバーコアなど）

「本器具の使用にあたっては歯科医師の判断と責任の下でご使用ください」

洗浄・滅菌

- 使用前には必ず本品の破損がないかを確認し、洗浄・滅菌を行って下さい。
- 使用後は表面に付着した血液等の異物を拭き取った後、洗浄を行って下さい。
- その後に滅菌（オートクレーブ）、乾燥させて保管して下さい。